

ARIBの動き

第114回業務委員会が開催される

第114回業務委員会が開催されましたので、その概要をお知らせします。

1 日時 平成18年1月11日(水) 午後2時から4時まで

2 場所 当会第2会議室

3 議事概要

(1) 事務局から、次の事項について説明、報告がありました

ア 平成18年度総務省所管予算(案)の概要について

イ 特定周波数終了対策業務の実施状況について

ウ アナログ周波数変更対策業務について

一般受信者向けの受信対策の状況、送信設備に係る給付業務の状況
及び平成18年1月中に受信対策を開始する地域

エ アナログ周波数変更対策業務

(2) その他

ア 事務局から、最近の当会の活動状況について説明がありました。

イ 次回の業務委員会は、平成18年2月15日(水)午後2時から開催することとなりました。

電気通信・放送
行政の動き

平成18年度総務省所管一般会計予算(案)の概要

総務省より平成18年度所管一般会計予算(案)の概要が発表されましたので関連する主要事項の予算配分と合わせて紹介します。

1 平成18年度総務省所管一般会計予算(案)の概要

(1) 平成18年度予定額 15兆8,286億円

(2) 平成17年度予算額 17兆4,876億円 (17年度予算額は当初予算額)

(3) 比較増減額 △1兆6,590億円

組織別予算額

(単位:億円)

組織	平成18年度 予定額 A	平成17年度 予算額 B	比較増減額 (A-B) C	増減率 (C/B) %
総務本省	157,913	174,441	△16,529	△9.5
管区行政評価 局	78	81	△3	△4.1
総合通信局	148	152	△4	△2.9
公害等調整委 員会	6	6	0	△2.1
消防庁	142	195	△53	△27.1
総務省所管合 計	158,286	174,876	△16,590	△9.5
地方交付税等 財源繰入れ	145,584	160,891	△15,307	△9.5
一般歳出	12,702	13,985	△1,283	△9.2
(1) 恩給費	9,424	10,074	△650	△6.5
(2) その他の 経費	3,278	3,911	△633	△16.2

注1：一般歳出は、地方交付税等財源繰入れ（地方交付税交付金財源及び地方特例交付金財源の交付税及び譲与税配付金特別会計への繰入れに必要な経費。）を除いたもの。ただし、平成17年度の地方交付税等財源繰入れの欄には、平成17年度予算に計上している「社会資本整備特別措置法」第2条第1項に該当する償還時補助経費（2億円）を含んでいる。

注2：計数はそれぞれ四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

2 主要事項

(1) 行政改革の推進（18年度予算額） 10 億円

- ア 国の行政機構等の合理化推進
- イ 分権型社会に対応した地方行政改革の推進
- ウ 評価機能の充実・発揮
- エ 行政の透明性の向上と信頼性の確保
- オ 国家公務員制度改革の推進

(2) 分権型社会への着実な移行 14兆5,632 億円

- ア 地方税財政の基盤強化
 - 〔 地方交付税、地方特例交付金財源
繰入 14兆5,584億円 〕

イ 市町村合併の推進（補助）	40 億円	
ウ 地方行政運営の推進	1 億円	
エ 活力、個性、魅力にあふれる地域づくり	7 億円	
(3) 電子政府・電子自治体の推進	89 億円	
ア 電子政府の推進	71 億円	
イ 電子自治体の推進	18 億円	
(4) 「u-Japan政策」の推進	951 億円	
	(18年度予算額)	(17年度予算額)
ア ICTを活用した安心・安全への取組の推進	111 億円	102.8 億円
イ ユビキタスネットワークの整備促進	579 億円	483.2 億円
ウ ICT利活用の高度化	41 億円	27.0 億円
エ 国際戦略の推進	10 億円	10.7 億円
オ 世界を先導するICT研究開発の推進	128 億円	129.1 億円
カ 電子政府・電子自治体の推進（再掲）	81 億円	66.4 億円
(5) 郵政事業改革の推進	4 億円	
ア 民営化後の新会社への円滑な移行		
イ 公社の経営管理・営業推進体制の確立		
ウ 郵便局ネットワークの活用の推進		
エ 郵便における競争の促進		
オ 国際協調・貢献の推進		
(6) 国民の安心・安全の確保	9,962 億円	
ア 消防防災基盤の整備推進	112 億円	
イ 個人情報の保護・情報セキュリティの向上	62 億円	
ウ 恩給の支給	9,424 億円	
エ ニーズに即した統計の整備、提供	359 億円	
オ 行政相談活動の推進	5 億円	
(7) その他		
ア 政党交付金・基地交付金等	641 億円	

なお詳細については、 (http://www.soumu.go.jp/menu_04/yosan/yosan.html) を参照してください。

携帯電話の新サービス、料金が利用拡大の抑制要因に（仏）

【Le FIG-ECO,2006/01/09】

TNSソフレスはこのほど、世界15カ国（欧州、アジア、米国）を対象に、携帯電話のマルチメディアサービスなどの利用状況に関する国際調査の結果を公表した。

これによると、携帯電話でインターネットを利用したことがあると答えた人の60%が、サービス利用を抑制する原因として、料金を挙げている。このほかの理由としては、時間がかかる（47%）、画面が小さい（39%）、操作性が低い（34%）、使い方が難しい（21%）などが挙げている。一方、インターネットの利用が可能だが、利用したことがないと答えた人のうち、54%は料金が高すぎることを理由に挙げている。

仏に限ると、利用したダウンロードの種類は、着メロ（46%の人が利用経験あり）、待ち受け画面（44%）、ゲーム（33%）となっており、楽曲のダウンロードの普及率（利用可能な人のうち14%が利用）はまだ低い。テレビ番組の配信については、43%の人が関心があると答えており、関心の高さは調査対象となった15カ国中で、日本に次ぐ第2位となったが、今のところ普及は遅れている。

編集後記

久しぶりに家族と昨年の暮れに映画ALWAYS（三丁目の夕日）を見に行きました。

今まで20年ほど一度も映画館に行ったことはなく女房と娘に誘われての鑑賞でした。

丁度私の年代にはピッタリの映画で昭和33年頃の東京を舞台にしており東京タワーが建設中で、また集団就職をする時代設定でした。車はミゼットが走り子供は兄弟のお古（継ぎを当てたセーター）を着ているような時代です。テレビも出始めのころで近所の人が見物に来るような映像や、氷をいれた木製の冷蔵庫から電気冷蔵庫に変わる時に冷蔵庫の中に頭を突っ込み感動している場面もあり、今の若い人が見たら想像がつかない光景ですが、つい50年ほど前の事です。物語は人情もので涙ものでしたが懐かしくみる事が出来ました。また機会を作ってぜひ見に行きたいと思っています。

新編集委員の紹介をさせていただきます。1月11日より佐々木 司さんが新たににこられましたのでご紹介します。



皆さん、始めまして。新たにARIBに参りました佐々木”司”と申します。先輩の方々の活躍ぶりに接して、きちんと付いて行くためには相当な努力が要る、と大変緊張しております。実は、3GPP RANに関わった経験は3年ほどあるものの、私の技術的背景は無線ではなく、ソフトなので余計に不安を感じているのです。しかし、software defined radioをはじめ、こ

れからはソフトと無線の縁も深くなりそうであるし、これも必ずしも弱点ではないと前向きに考えるべきなのだろうと思います。自他共に認める slow learner ではありますが、これを機会に新しいことにどんどんチャレンジして行きたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。

[ページの先頭に戻る](#) ▲